

2014年 新年あけましておめでとうございます! 労働者の奮起で良い年に!

組合員の皆さん、そして職場の皆さん、新年あけましておめでとうございます。国土交通労働組合東海建設支部は、今年も奮闘してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

今年は午年です。馬のようにさつそうと走り、要求を前進させたいところです。しかし、「午」と紛らわしい「午」の字ですが、「午」は「忤(こ)」「忤(こ)」「忤(こ)」と紛らわしい「午」の意味)だそう。頂点を極めたところで今度は下り坂に向かうポイント、つまり、万物は繁栄を極めますが、頂点を越して今度は衰微に向かいます。草木の成長が極限を過ぎ、衰えの兆しを見せ始めた状態を表すそうです。新年早々縁起の悪い話で恐縮ですが、正に日本経済の兆しを示しているかの様にも思えます。



イラスト作：岐阜分会の友大さん
力強い馬の絵と作業着の特徴がよく描かれていますね!モデルは誰なんだろうか。

14春闘勝利! 賃金改善で景気回復を

昨年は振り返りますと、自公政権へ戻り、安倍首相が経済政策へ舵をきり、「国土強靱化政策」として度重なる補正予算で、職場は大変な状況であったかと思えます。テフレ脱却として「アベノミクス」を打ち出すも、円安で輸出産業を中心とする大企業だけが儲け、一三年度の経常利益は前年度比二三・四%増、一方労働者賃金は、昨年一〇月時点で十七ヶ月連続で前年同月比マイナスとなっており、消費者物価指数は昨年六月から上がり続けています。私

一方私たちの賃金は、一昨年より東日本大震災及び国難を理由に平均七・八%の買下げが行われてきました。予定通り今年三月で終わることになっていきますが、人事院は地域手当を理由に本俸の引き下げを画策して五〇歳代の賃金抑制をねらっています。又、通常国会で提出されるであろう国家公務員法改正案では、年金との接続の為に定年延長は、総人件費抑制や民間の様子を見送る案となっており、

私たちは、かねてより「賃上げ」で消費を上向かせることがテフレ脱却策と訴え、「アベノミクス」でも「賃上げ」を打ち出しましたが、結果は大企業だけが儲け、庶民の暮らしは苦しくなるばかりです。四月からの消費税引き上げで、なお一層深刻となります。

こうした中で14春闘を迎えますが、連合の基本方針は、わずか「1%以上」と低水準の要求を進めています。内部留保や昨年の儲けから考えれば、もっと要

まず、先々の雇用不安や、賃金改善の為に、春闘で民間の処遇が改善されなければ、私たちの処遇も改善されません。しかし、日本の労働組合組織率は僅か一七・七%に止まり、結束力のなさが労働者を冷遇に強いらせています。

東海建設支部では、この春闘でも地域に足を出して、民間の仲間皆さんと共に闘って行きます。職場の皆さんのご協力と、当組合への加入を心よりお待ちしています。

直轄国道・河川移譲が始まる

「道州制」「地方分権」「行革」等の問題では、独法改革が先行しています。大学では非公務員化や、既存組織の新たな独立化、統合が進められるようになってい

国土交通省関係では自公政権が旧政権時代に整理したバイパス後の旧道や一都道府県で完結する河川を都道府県に、政府と全国知事会が時限付き財源確保で合意し、都府県が希望する箇所から移譲を進めようとしています。また、組織問題では、昨年末に公表された来年度組織改定で出張所係長の大幅な廃止、担当者は極めて少なく、出張所係長に昇任していく人数が不足しているのは明確です。このままでは出張所を維持できなくなり、防災官庁としての機能を損なうことにもなりかねません。東海建設支部では新年から生公連署名の取り回しや、地方議会諸願等を行っていきます。各職場の状況や地域での問題など、職場の皆さんのお知恵も借りながら進めていきます。皆さんのご協力をお願いいたします。

二〇一三年を振り返って

オリンピックが東京へ決定!

九月七日に国際オリンピック委員会総会が開かれ、イスタンブールとマドリードの3都市で争い、委員による投票で二十二年夏のオリンピック開催が決まりました。

滝川クリステルさんの「おもてなし」が流行語大賞となるなどの話題となりました。

一方、安倍首相は福島原発事故の汚染水漏れについて「状況はコントロールされている」と実際は汚染水は海へ漏れ、コントロールされているとは言い難い状況であるにも関わらず、オリンピックを誘致したいためのウソの宣伝を行っていました。

流行語大賞を見て

十三年の流行語大賞は四語が初の同時受賞とのこと。「おもてなし」、「倍返し」、「今でしょ!」、「お・も・て・な・し」は朝の

人気ドラマ「あまちゃん」の口げで使われている三陸地方の方言。東日本大地震の復興の一助となってくればうれしいですね。

「倍返し」はドラマ「半沢直樹」の銀行を舞台とした不正上司への仕返しで痛快でドロドロした復讐劇。不正は通らず、正義が勝つ。ウルトラマンか仮面ライダーのようなものが背景に見え、これからの日本を明るく・誠実で実直なものとしようとする人達のためになるのではとおもってしまいいました。

「今でしょ!」は名古屋の塾講師のたった一言の言葉、痛快ではありましたが、実際は「今じゃありません!」と突っ込みを入れたくなってしまいました。

「お・も・て・な・し」は滝川クリステルさんのプレゼンのメッセージですが、日本の良さかと思いません。いつか「もったいない」が外国人の人から発信され、これから日本文化を継承されなければならない一言です。

ありました。

受賞以外でも注目されたのは「ブラック企業」。今の不景気を背景にした使用者優位の立場で、大量採用・大量解雇を繰り返し、特に若者をターゲットにした労働者追懐捨ての言葉です。この言葉は、受賞したプラス面の言葉ではありません。今の社会情勢を的確に表し、社会問題化しているものです。

労働組合離れが叫ばれていますが、このブラック企業に立ち向かえるのは労働組合しかないと言えます。労働組合がないところはゆるいしかないし、裁判で闘うことくらいしかありません。これでは日本の社会が良くなりません。我々も改めて全ての国民が日本社会を良くするために、労働者が労働組合に加入し、心配りや悩みがあれば、組合員同士で話し合い、これではおかしいぞと言うときは一致団結して、良い社会を築こうではありませんか。

微力ながら、東海建設支部は今年も中部地域に働く者のために頑張ります!!